

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 1 月 26 日 (2012.1.26)

【公表番号】特表 2011-505349 (P2011-505349A)

【公表日】平成 23 年 2 月 24 日 (2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報 2011-008

【出願番号】特願 2010-535473 (P2010-535473)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/74 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

A 2 3 C 9/127 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/74 C

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 3/10

A 2 3 L 1/30 Z

C 1 2 Q 1/02

A 2 3 C 9/127

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 30 日 (2011.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ラクトバチルス・カゼイ (エル・カゼイ) 株及び / 又はビフィドバクテリウム・ブレベ (ビー・ブレベ) 株を含む肥満細胞活性化阻害組成物。

【請求項 2】

IgE-誘導肥満細胞活性化の予防用である請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

アレルギー又はアレルギー発現の予防、緩和又は治療用である請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

IgG-誘導肥満細胞活性化の予防用である請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

自己免疫疾患の予防、緩和又は治療用である請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

2 型糖尿病の予防、緩和又は治療用である請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記エル・カゼイ株がエル・カゼイ亜種パラカゼイ株である請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記エル・カゼイ株が、CNCMに、1994年12月30日に番号I-1518で寄託された株である請求項1～7のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項9】

前記ビフィドバクテリウム・ブレベ株が、CNCMに、1999年5月31日に番号I-2219で寄託された株である請求項1～8のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項10】

食品サプリメント及び/又は機能性食品である請求項1～9のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項11】

発酵乳製品である請求項1～10のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項12】

ラクトバチルス属、ラクトコッカス属及びストレプトコッカス属から選択される少なくとも1種の他の細菌株をさらに含む請求項1～11のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項13】

ストレプトコッカス・サーモフィラス及びラクトバチルス・ブルガリカスからなる群より選択される少なくとも1種の細菌株を含む請求項12に記載の組成物。

【請求項14】

医薬品である請求項1～9、12及び13のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項15】

前記細菌が生菌で用いられる請求項1～14のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項16】

前記細菌が死滅した細胞全体で用いられる請求項1～14のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項17】

前記細菌の細菌溶解液又は細菌画分を含む請求項1～14のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項18】

該組成物の摂取が肥満細胞と該組成物に含まれる細菌、細菌溶解液及び/又は細菌画分との直接接触を導くように処方されている請求項1～17のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項19】

(a) 肥満細胞を、スクリーニングする細菌と少なくとも1時間インキュベートする工程；
(b) 前記細菌を取り出す任意工程；
(c) 前記肥満細胞に活性化剤を加える工程；及び
(d) 前記肥満細胞の活性化を測定する工程
を含んでなる、抗体による肥満細胞の活性化を阻害する組成物の製造に用いることができる細菌株を同定するためのスクリーニング方法。

【請求項20】

工程(c)で用いられる活性化剤が、予め形成されたIgG/抗原複合体、カルシウムイオノフォア、LPS、PMA、イオノマイシン、タブシガルジン及びこれらの2種以上の混合物からなる群より選択される請求項19に記載のスクリーニング方法。

【請求項21】

(a) 肥満細胞を、スクリーニングする細菌と少なくとも1時間インキュベートする工程；
(b) 前記細菌を取り出す任意工程；
(c) 前記肥満細胞をIgE抗体とインキュベートする工程；
(d) 前記肥満細胞に特異抗原を加える工程；及び
(e) 前記肥満細胞の活性化を測定する工程
を含んでなる、抗体による肥満細胞の活性化を阻害する組成物の製造に用いることができる細菌株を同定するためのスクリーニング方法。

【請求項22】

工程(d)又は(e)が、肥満細胞により放出されるベータ-ヘキソサミニダーゼ及び/又はT

NF-アルファ、及び/又は肥満細胞により放出又は分泌される任意の生成物、及び/又は肥満細胞活性化に伴う任意の細胞変化のレベルを測定することにより行われる請求項 19 ~ 21 のいずれか 1 項に記載のスクリーニング方法。